



チャレンジ
25

滋賀銀行は、「エコ・ファースト企業」として、
温室効果ガス25%削減に取り組んでいます。



滋賀銀行

<http://www.shigagin.com>

もっともっと、知ってほしい
ことがあります。



ミニディスクロージャー誌

なるほど しがぎん

平成22年4月1日－平成23年3月31日



SHIGA BANK

Mini DISCLOSURE 2011

このたびの東日本大震災により被災されました皆さまに心より
お見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り
申し上げます。
株式会社 滋賀銀行

行 是
自 分 に き び し く
人 に は 親 切
社 会 に つ く す

CSR憲章 [経営理念] 平成19年4月制定

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし(売り手よし、
買い手よし、世間よし)」の精神を継承した行是「自分に
きびしく 人には親切 社会につくす」をCSR(企業の
社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」
を実現してまいります。

地域社会との 共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼
と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の
精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

役職員との 共存共栄

役職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働か
がいのある職場づくりに努め、心身ともに
「クリーンバンクしがざん」の実現に努めます。

地球環境との 共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命とし
て「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続
可能な社会づくりに努めます。

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のご愛顧を賜りまして、
誠にありがとうございます。

このたびの東日本大震災は、大地震と津波、原発事
故が重なるという未曾有の激甚災害であり、その深
刻な影響は、モノ不足や電力不足など広く私たちの
日常生活に及んでおります。

日本経済の“成長戦略”が改めて問われている大転
換期にあって、当行は、役職員全員が第4次長期経営
計画の基本ビジョンである「“対話力”強化による
更なる共存共栄」への取り組みを推し進め、地域のお
取引先のさまざまなご要望に対して、なお一層的確・
迅速にお応えすることで、「地域に根ざした銀行」「安心
な銀行」としての使命を果たしてまいります。

今後とも、一層のご愛顧、ご支援を賜りますよう
お願い申し上げます。

平成23年6月



取締役頭取

大道良夫

滋賀銀行データ

名 称	株式会社 滋賀銀行 THE SHIGA BANK,LTD.
本店所在地	滋賀県大津市浜町1番38号
設 立	昭和8年10月1日
総 資 産	4兆4,017億円
預 金 残 高	4兆0,088億円 (譲渡性預金含む)
貸 出 金 残 高	2兆7,748億円
資 本 金	330億円
従 業 員	2,365人
店 舗 数	138カ店 (うち代理店10カ店) (平成23年3月31日現在)

CONTENTS

● ごあいさつ	1
● 個人のお客さま	3~4
● 法人のお客さま	5~6
● 海外ネットワーク	7~8
● CS向上の取り組み	9
● CSRの取り組み	10
● 「安心」「安全」にむけた取り組み	11
● TOPICS!	30
財務データ	
● 預金等	13
● 貸出金	14
● 自己資本比率	17
● 業績ハイライト	19~20
● 金融円滑化の実現に向けて	21
● 地域密着型金融の取り組み	22

お客さまに身近なしがぎん 地域NO.1銀行を目指します



□ コンビニATMとの提携を拡大しました

「より身近で、より便利に」と、ATM提携先を拡大しました。全国のセブン銀行ATM、ローソンATM、イーネットATM(ファミリーマートやミニストップに設置)で24時間、お引き出しと残高照会のほか、お預け入れがご利用いただけます。

※なお、23:55～0:05はシステムメンテナンスのため休止します。



□ 地域共感イベント！

「しがぎんレイクスターズ・デー」を開催しました

プロバスケットボールチーム「滋賀レイクスターズ」で活躍中の選手たちによるトークショーとサイン会を平成23年1月22日、草津・南草津パーソナル両出張所で開催しました。

当日は、選手との会話やユニフォーム・等身大パネルなどの展示のほか、「しがぎん」限定グッズのプレゼントも行われ、ご来場の皆さんに両パーソナル出張所に親しんでいただく機会となりました。

選手の話に来場された多くの家族連れやファンの皆さんも興味深げ



□ お客さまの資産運用をお手伝いします

お客さまの資産運用ニーズにきめ細かくお応えするため、幅広い相談メニューをご用意しています。

■ 土・日曜日でもご相談可能な「パーソナル出張所」

草津と南草津に開設の「パーソナル出張所」では、土・日曜日でもご相談を承っています。

■ 資産運用アドバイザーが親身にご提案

年金や税務・相続などについての幅広い知識を持った「資産運用アドバイザー」を京滋地区の全本支店に配置、お客さまのライフプランにあわせて親身にご提案を行っています。

□ 「お金」を学ぶセミナーを開催

『「しがぎん」マネー・アカデミー～2011おもしろお金塾～』を平成23年2月に開催しました。金融・投資教育コンサルタントによる講演のほか、「お金」をテーマとする落語も披露。ご来場の皆さんに、資産運用について楽しみながら学んでいただきました。

※セミナーの開催予定は、各本支店のお知らせやホームページなどでご確認ください。



「時うどん」の落語で会場は笑いの渦に包まれました



“共存共栄”に向けて、 地域経済の活性化に注力 します



□ 「東日本大震災に係る特別相談窓口」を設置

今般の「東日本大震災」により影響を受けられたお取引先の相談にお応えするため、全本支店に特別相談窓口を設置いたしました。

あわせて、資金ニーズに速やかにお応えするために、「BCPサポートローン 震災影響対策プラン」を新設。「お取引先の被災により売上が減少した」「原材料や部品の調達が困難になった」「自粛ムードにより観光客が減少した」といったご相談や資金繰りを中心とする資金ニーズなど、お取引先の状況にあわせてサポートしています。

□ 観光による地域活性化を願って 「滋賀の魅力発信ファンド」を新設

滋賀県ならではの「自然」「食」「歴史」など地域資源を観光産業と結び、地域の活性化につなげようと平成23年5月、「滋賀の魅力発信ファンド」を新設しました。

「地域ブランドの魅力の向上」や「地域資源を活用した新商品・サービスの開発」などを積極的に取り組む事業者の皆さんを支援するもので、投資対象を観光事業に特化するファンドは、全国の金融機関で初めてです。

多くの観光客が訪れる長浜市・黒壁ガラス館(株式会社黒壁)に第一号案件として投資しました



□ 環境対応型融資商品で ニゴロブナとワタカを放流

琵琶湖の固有種で絶滅の恐れがある「ニゴロブナ」と「ワタカ」の稚魚各3万匹を、平成23年3月に琵琶湖へ放流しました。琵琶湖の生態系保全と湖国の食文化の育成を願っての取り組みです。

具体的には、「カーボンニュートラルローン 未来よし」のご利用実績をもとにお取引先の温室効果ガス削減量を当行が金額に換算、相当分を「ニゴロブナ・ワタカ放流事業」に毎年寄贈しています。

ニゴロブナの放流は平成19年度から4年間のべ12万匹にのぼります。ワタカの放流は今回が初めてとなります。



ニゴロブナは湖国の郷土料理「ふなずし」の原料です

□ 「大阪北法人営業部」をJR新大阪駅前に移転

平成23年6月3日に「大阪北法人営業部」(平成19年6月開設)を、梅田支店内(大阪市北区)からJR新大阪駅前に独立移転いたしました。

ビジネスマッチングやアジアビジネスサポートなど、お取引先のニーズにお応えするため、人員を増加し営業力も強化いたしました。

オープンを記念してテープカット
(右より大道頭取、Sky株式会社
大浦社長、吉井部長)





アジアビジネスのサービスをますます強力にサポートします



□ タイ・バンコクでビジネスマッチングを開催

日系企業とタイ企業との出会いの“場”を提供する「タイー日本ビジネスマッチング」が平成22年11月30日、タイ・バンコクで開催されました。

現地のカシコン銀行と日本の地方銀行15行が開催したもので、当日は当行のお取引先7社を含む日系企業37社が参加、販路拡大や新しいビジネスパートナーを見つけようと、熱心な商談が行われました。



現地企業と実りあるマッチングを、と真剣な交渉が続きます

□ 県外初、京都と三重でアジアセミナーを開催

アジアビジネスをテーマに毎年開催している「しがぎん」アジアセミナーを平成23年2月に京都、三重の2会場で開催しました。平成5年以来、毎年開いているもので、県外の開催は初めてとなります。

当日は、今後の為替相場や中国進出企業の現状など

実務に役立つ情報を提供、参加された皆さんからご好評をいただきました。



これからのアジアの展望を熱心に聞く皆さん

□ 近畿地銀で初、香港支店で「人民元建て融資業務」の取扱開始

中国と取引があるお取引先の利便性向上を図るため、「人民元建て融資業務」と「人民元建て決済業務」を、平成23年2月から、香港支店で取り扱いを開始しました。

香港支店は近畿地銀唯一の海外拠点として、開設18年目を迎えます。今回の業務開始で、増加する香港・中国本土間のスムーズな決済業務と、香港支店から人民元建てクロスボーダーローンを活用することにより、中国本土に進出されているお取引先への安定した人民元の供給が可能となります。引き続き、お取引先のアジアビジネスを、強力にサポートしてまいります。



※香港支店では、法人のお取引先のみを対象といたしております。

※中国当局の規制により、お取り扱いできない場合もありますので、詳しくは国際部アジアデスク 077-521-2485までお問い合わせください。

人民元建て取引が急増する香港



すべてのお客さまの「満足」を目指します



□ お客さまの「安心」「安全」をお手伝い

「お客さまにふさわしい“おもてなし”の提供」を合言葉に、行員一人ひとりが“考動”し、お客さまへのサービスの向上に努めています。

■ 「高齢者疑似体験」を実施しました

ご高齢のお客さまにも快適に銀行サービスをご利用いただくため、行員が実際に耳栓や特殊メガネ、サポーターなどを身につけてご高齢者の日常動作を“疑似体験”し、適切な対応を学びました。



ご高齢のお客さまの“気持ち”を体験する参加者たち

■ 「認知症サポーター」を配置しています

認知症のお客さまへ適切な気配りや対応を行う「認知症サポーター」を養成し、滋賀県、京都府、大阪府の本支店に配置しています。

□ 「音声案内ハンドセット付ATM」操作体験会を開催

視覚障がいのあるお客さまのために音声でATM操作手順をご案内する「音声案内ハンドセット付ATM」の操作体験会を開催しました。

当行では、すべてのATMに音声案内ハンドセットを設置しています。

受話器の音声でATM操作をご案内



地球にやさしい取り組みを続けていきます



□ 地球環境にやさしい「環境配慮型店舗」

店舗の新築や老朽化による建て替えの際には、環境に配慮した店づくりを進めています。

平成23年3月に山東支店と高月支店を新築。それぞれ太陽光パネルを設置し、ATMコーナーで使用する電力相当分を発電する一方、ソーラー街路灯で節電に努めています。「環境配慮型店舗」はこれで7カ店になりました。



山東支店の太陽パネル



発電量をATMコーナーに表示

□ 生物多様性の保全を願って「ヨシ刈りボランティア」を実施！



しがぎんは「ヨシ刈りボランティア」を平成22年12月と同年23年1月の2回行い、役職員のべ1,300人が参加しました。

平成11年から毎年、琵琶湖の水質保全や魚の産卵場所として欠かせないヨシ群落を守るため、冬場を実施しています。刈り取ったヨシは役職員の名刺に生まれ変わります。

高さ4メートルにもなるヨシを、力を合わせて刈り取りました

□ 震災発生時でも事業を継続できる
体制づくりを行っています

「東日本大震災」の発生により、各金融機関では「事業の継続性」の一層の確保が求められています。

しがぎんでは、地震など災害の発生時にも業務を継続し、金融の役割を果たすため「事業継続計画（BCP）」を策定しています。また、同計画を確実に実行するため、平成23年4月に「地震災害時初動対応マニュアル」「地震災害時初動対応チェックリスト」を制定するとともに、定期的に実地訓練を行っています。

地域の皆さまに、安心して金融サービスをご利用いただけるよう、より強固な体制づくりに取り組んでいます。

□ 金融トラブルの早期解決に向けて

お客さまの利便性や金融商品・サービスに関する信頼性の向上を目的に「金融ADR制度（金融分野における裁判外紛争解決制度）」が法制化されました。

お客さまが金融機関とのトラブルを解決する手段として、この制度をご利用いただくことで、通常の裁判より安価で簡易・迅速な手続きが受けられます。

しがぎんでは、指定紛争解決機関として「全国銀行協会」と契約を締結し、この制度に取り組んでいます。

■ 銀行に関するさまざまなご相談やご照会の受付窓口



全国銀行協会相談室
〒100-8216 東京都千代田区丸の内1-3-1

0570-017109
03-5252-3772

- 受付日：月～金曜日
(祝日および銀行の休業日を除く)
- 受付時間：午前9時～午後5時

TOPICS!
トピックス



□ しがぎんテレビCMが
環境コミュニケーション
大賞で「優秀賞」受賞！

当行のテレビCM「陶芸作家中野亘篇」が、「第14回環境コミュニケーション大賞」（環境省など主催）のテレビ環境CM部門で「優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）」を受賞しました。

平成22年7月から放映しており、地元で活躍中の中野さんの言葉「この土地でしか出来ないもの（作品）が生まれる」や子どもたちのいきいきとした表情を通じて、「地方銀行として、滋賀ならではの自然、琵琶湖の素晴らしさを“未来”に残そう」との願いを込めています。

□ 個人投資家向けの「会社説明会」を開催

個人投資家の皆さまを対象とした「会社説明会」を平成23年3月、彦根と京都で開催しました。

投資家の皆さまにしがぎんの経営方針や取り組みをご理解いただくため、今後も会社説明会やホームページなどを通じて情報開示を充実させていきます。

しがぎんホームページは、www.shigagin.com

地域に根ざし、お客さまにもっと「身近な」銀行を目指します

コアとなる個人預金が堅調に推移

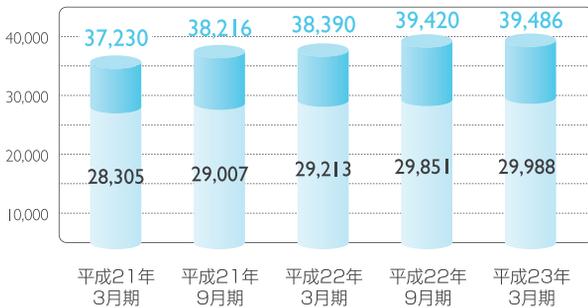
預金等

当期は、しがぎんの「健全経営」が地域の皆さまからのご支持を受けて個人のお取引を中心に預金等は順調に増加、期中平均残高は前期比1,095億円増加して3兆9,486億円となりました。また、期末残高は4兆88億円となり、初めて4兆円を突破しました。

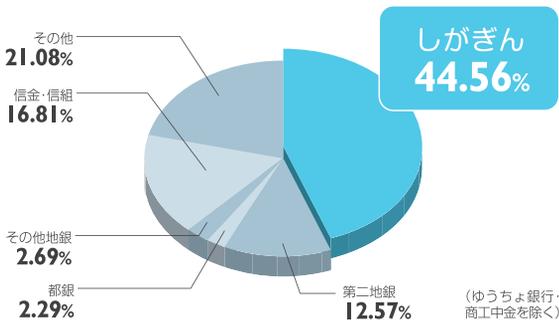
預金等(譲渡性預金含む) 期中平均残高

全体
個人預金

単位:億円



預金残高「滋賀県内シェア」(平成22年9月末現在)



貸出金は事業性貸出、消費者向け貸出ともに増加

貸出金

期中平均残高は前期比128億円増加し、2兆6,826億円となりました。先行き不透明な経済環境下でも事業性貸出は前期比25億円増加、消費者向け貸出も住宅市場の回復基調に後押しされて同36億円増加しました。

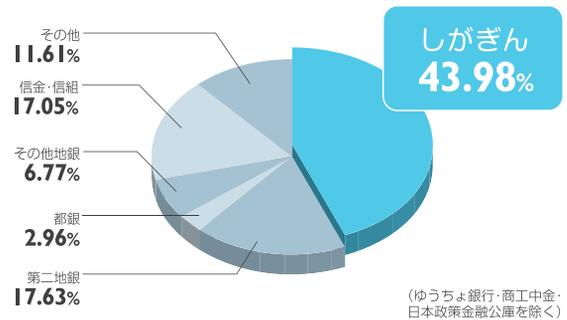
貸出金 期中平均残高

全体
うち消費者向け貸出金

単位:億円



貸出金残高「滋賀県内シェア」(平成22年9月末現在)



多彩な運用商品で、資産づくりをサポートしています

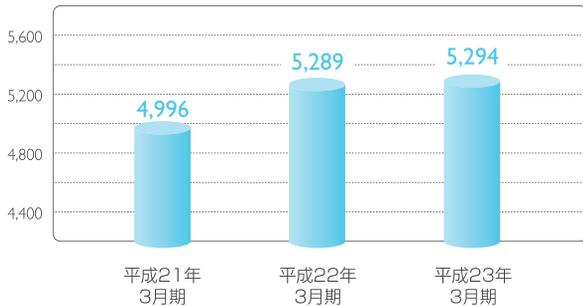
格付は安心の高い評価を取得

個人の預り資産残高を中心に、堅調に推移

預り資産残高 当期の投資信託、公共債保護預り、個人年金保険といった預り資産の残高は前期比5億円増加し、5,294億円となりました。そのうち、個人の預り資産残高は前期比26億円増加し、5,101億円となりました。

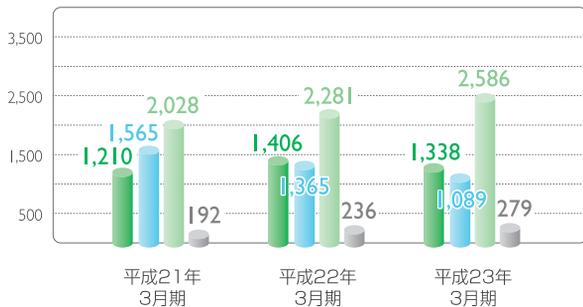
預り資産残高 合計

単位:億円



預り資産残高 内訳

■ 投資信託 ■ 公共債 ■ 生命保険 ■ その他
単位:億円



※生命保険は、取扱開始(平成14年10月)以降の取扱保険料累計です。

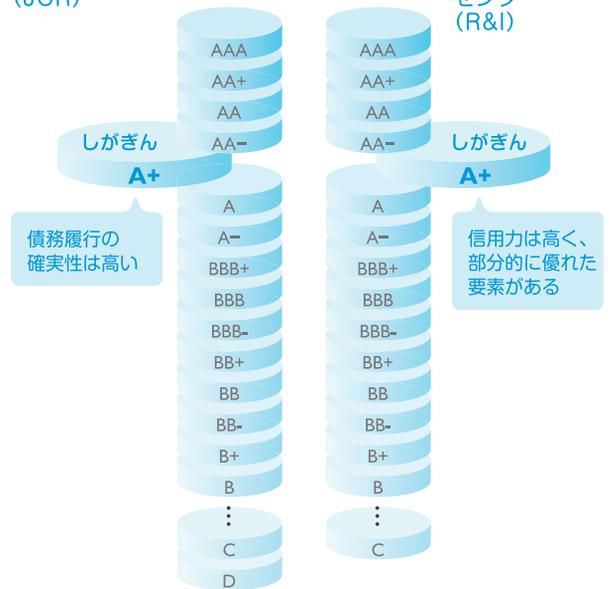
2つの格付機関が「A+」と高い評価

格付 「大切なお金は、安心できる銀行に預けたい」。格付は、お客さまに安心してお選びいただく目安のひとつとなる外部評価です。

しがぎんは、2つの格付機関からともに「A+」を取得し、信用度について高い評価をいただいています。

日本格付研究所 (JCR)

格付投資情報センター (R&I)



格付

用語説明

銀行預金の元金支払の確実性や安全性について、利害関係のない第三者が判断してその結果を簡潔な記号で表したものです。銀行を判断するうえで、安全性・信用度を客観的に評価した重要な指標のひとつです。

これからも「安全」「健全」な 経営に努めます

不良債権は、引き続き 低位に推移

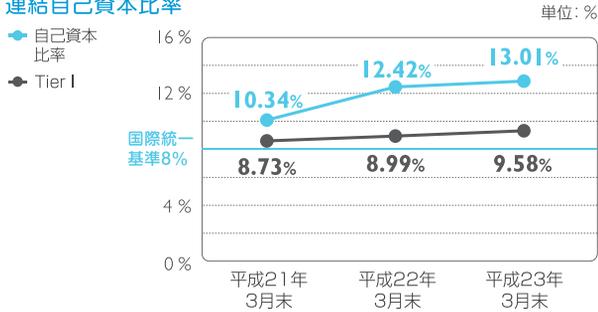
自己資本比率は国際統一基準の8%を大きくクリア

自己資本 比率

自己資本比率は、銀行の安全性、健全性を図る指標のひとつです。しがぎんのように海外に営業拠点を持つ銀行は、国際統一基準の8%以上でなければなりません。

しがぎんの自己資本比率は13.01%（平成23年3月末、連結ベース）と国際統一基準を大きくクリアしています。

連結自己資本比率



自己資本比率

用語説明

銀行の安全性、健全性を判断する基準のひとつに、自己資本比率があります。銀行の自己資本が、予想外の損失に対する備えとして十分であるかどうかを示す指標です。海外支店を持つ銀行は、国際統一基準行として8%以上の自己資本比率を求められています。

国際統一基準による自己資本比率

Tier I

資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目

+

Tier II

有価証券含み益の45%相当額など補完的項目

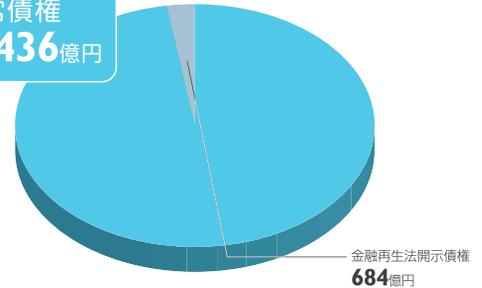
×100 ≥ 8.0%

リスク・アセット リスクの度合いに応じて調整した総資産の金額

不良債権の状況

しがぎんの金融再生法に基づく開示債権の合計は684億円、総与信に占める不良債権比率は2.43%となりました。また、貸倒引当金や担保などによる保全率は78.73%です。

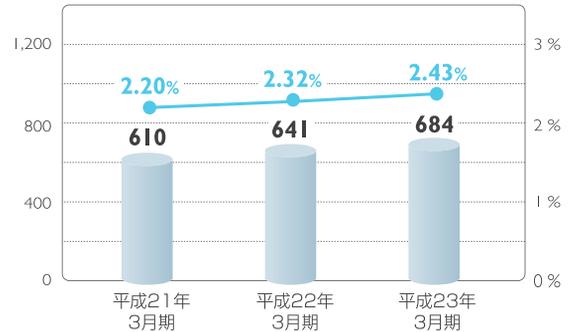
正常債権
2兆7,436億円



金融再生法開示債権

単位: 億円

対総与信残高比率
単位: %



不良債権比率

用語説明

貸出金等の総与信残高に占める不良債権の割合です。不良債権比率が低いほど、資産の質は高くなります。銀行ごとにその資産総額の規模が異なることから、この比率が銀行の健全性をみる指標の一つになります。

お知らせします、しがぎん の業績

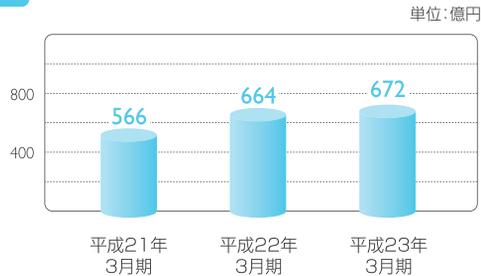
業績ハイライト

- 経常利益は、債券の償還や売却により得た利益の改善や外国為替売買益が増加したこと、また、経費の削減に努めたことなどにより、前期比19億円の増益となりました。

- 当期純利益は、減損損失が前期比9億円増加したこと、ならびに、法人税等の負担が前期比10億円増加したことにより、前年比若干減益の38億円となりました。

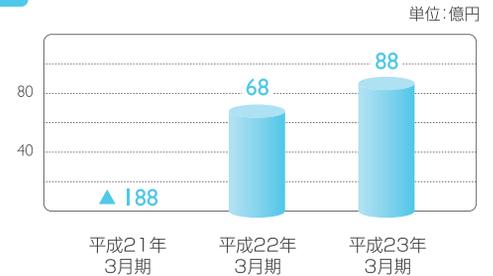
業務粗利益

銀行本来の業務(貸出業務、為替業務、有価証券運用など)から得た利益です。



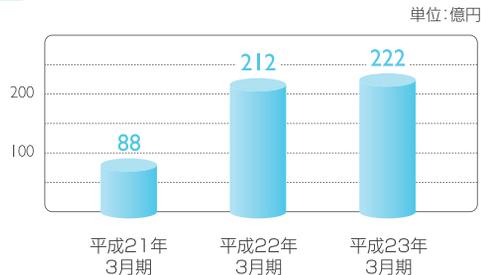
経常利益

業務純益から株式の売却損益や不良債権処理に関わる費用などをプラス・マイナスした利益です。



業務純益

一般企業でいう営業利益にあたります。
 $\text{業務純益} = \text{業務粗利益} - \text{経費(人件費、物件費等)} - \text{一般貸倒引当金繰入額}$



当期純利益

経常利益から法人税や事業税等を差し引いた最終的な当期の利益です。



お取引先の経営改善に 知恵と親切を提供します

しがぎんでは「地域社会との共存共栄」を経営理念であるCSR憲章の一つに定め、経済環境が低迷する中、お取引先との“対話力”を強化、財務内容の改善や適正な事業運営に向けた経営改善計画の策定をサポートしています。

平成22年度には審査部内の「企業経営支援室」を増員、中小企業診断士資格など専門の知識を持つ行員が、外部専門家と連携してお取引先の経営改善支援を行っています。

条件変更等の対応状況

中小企業金融円滑化法施行以降、担当部署の設置や職員への研修の強化等、お客さまのお申し出に速やかに対応できる体制整備を行い、金融円滑化の実現に取り組んでいます。

※業績や収入の変化により当初計画通りのご返済が困難な状況が予想される場合はお近くの支店の「資金繰り・経営改善サポート窓口」及び、「ご返済サポート窓口」にご相談ください。

ご融資の条件変更等の対応実績

(平成21年12月4日～平成23年3月31日)

(単位:件・百万円)

	中小企業向けご融資		住宅資金向けご融資	
	件数	金額	件数	金額
条件変更のお申込み	9,219	376,489	731	9,278
実行	8,151	353,914	534	6,649
割合	88.4%	94.0%	73.1%	71.7%
謝絶	255	7,040	64	815
割合	2.8%	1.9%	8.8%	8.8%
審査中	426	8,392	53	650
割合	4.6%	2.2%	7.3%	7.0%
取下げ	387	7,141	80	1,162
割合	4.2%	1.9%	10.9%	12.5%

地域社会との更なる 共存共栄を目指しています

第4次長期経営計画の営業戦略に掲げる3つのブランド戦略(「ネットワークのしがぎん」「アジアに強いしがぎん」「CSRのしがぎん」)の実践を通じて、地域密着型金融の推進を行うため、具体的な数値目標を掲げて取り組んでいます。

今後も“対話力”を一層強化することにより、「高い付加価値を提供できる金融サービス業」の実現を図り、地域社会との更なる共存共栄の実現を目指してまいります。

地域密着型金融の推進の目標および実績 (平成22年4月～平成23年3月)

取り組み項目	平成25年 3月末目標	平成23年 3月末実績	平成23年 3月末 進捗率 (%)
第4次長期経営計画の挑戦指標			
Tier1比率(連結)	9.0%以上	9.58%	
ROE(連結)	3.5%以上	1.99%	
OHR(単体)	65%以下	65.73%	
CO2排出量※1	(2006年度比較) 2.5%削減	56.38%	
「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」に関する取り組み			
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み			
ニュービジネスサポート・コーディネート活動件数	100件	26件	26.0%
ビジネスマッチング件数(面談設定)	2,400件	1,750件	72.9%
事業承継提案件数	360件	128件	35.5%
格付コミュニケーション・サービスの実施回数(のべ回数)	3,400回	1,589回	46.7%
債務者区分のランクアップ先数※2	60件	8件	13.3%
中小企業再生支援協議会の活用件数	24件	5件	20.8%
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み			
アジアデスク・海外拠点によるサポート件数	3,600件	1,572件	43.6%
中国進出アドバイザー契約件数	10件	1件	10.0%
海外ミッション、海外商談会	各3回	各2回	66.6%
海外企業とのビジネスマッチング取り組み件数	100件	32件	32.0%
「CSRのしがぎん」に関する取り組み			
エコプラス定期	650,000件	193,187件	29.7%
PLB資金、エコクリーン資金(件数)※3	1,400件	170件	12.1%
PLB資金、エコクリーン資金(金額)	180億円	62.7億円	34.8%
PLB格付BD評価件数※4	3,800件	1,760件	46.3%
災害リスクコンサルティング	100件	182件	182.0%

※1 CO2排出量実績…排出権の購入によるカーボンオフセット効果31.45%の削減を含みます。

※2 債務者区分のランクアップ先数…審査部企業経営支援室が担当するお取引先(対象先136先)についてカウントします。

※3 PLB資金…「しがぎん」琵琶湖原則(Principles for Lake Biwa)支援資金

※4 PLB格付BD…生物多様性(Biodiversity)の保全活動に取り組まれるお取引先に対する当行独自の評価体系